

一般質問

信頼を取りもどせ



市議会  
坂口明徳

**問** 能登川支所・コミセンの改修・新築工事の予算について、26年度当初予算に計上された約11億円では不足することが、3月定例会での予算審議中に判明していた。

それにも関わらず、行政は議会への報告を怠った。その結果として、行政の能力不足と隠ぺい体質が明らかになっただけではなく、議会と行政の信頼関係が大きく失墜した。

また、工事完成の時期が大幅に遅れ、市民の皆さんに多大なるご迷惑をおかけすることとなった。議会としては、市民の皆さんにとってより良い施設を建設するために必要な予算であれば、充分に議論し、承認をするべきであると考えます。

このたびの6月議会に補正予算を提出しているが、議員の不信感と市民の皆さんの不安感を払拭するために、きちんと問題を整理、調査し、改善、公表しなければ、予算を承認することはできない。

この問題に対して市長は、

①どこに、どのような問題



改修が待たれる能登川支所のトイレ

題点があると認識しているのか。

②正確な状況を把握し、問題点を調査するために、第三者機関を設置する考えは。

③組織の長として、責任をどのように感じているのか。

**答** ①担当部から市長や議会へ報告が遅れたことについては、職員が予算の範囲内で何とか施工できるよう、設計業者と検討を繰り返していたことが問題点であると考えています。

「悪い情報ほど早く報告するように」という指示を再度徹底しました。

②第三者機関の設置については、内部においても時系列的に検証し、議会においても厳しく検証をされ、改善に向けてのご指摘を受けていますので考えていません。

③責任の所在については、最高責任者である市長の私にあると考えています。

東近江モデルをさらに先へ



公明党  
竹内典子



県立平和祈念館の市民共同発電所3号機

を地域商品券で分配する東近江市SUN讚プロジェクトの取り組みは、県内外からも大いに注目され、現在5カ所が稼働しています。

また、菜の花エコプロジェクト発祥の地である当市では、家庭等から回収した廃食油をバイオディーゼル燃料に精製し、林業や農業の機器等に供給しています。

そのほか、里山保全や獣害対策のため伐採された雑木から薪を生産する取り組みは、障がい者就業支援としても注目されています。

市では今年度、豊富な森林資源を活かし、木質バイオマスボイラーを農業用ハウスに導入する可能性調査を行います。

地域や市民の取り組みとしては、生ごみ堆肥化、節電対策の緑のカーテン、子どもたちへの環境学習などがあります。

**問** 認知症の早期発見のため、軽度認知障がい発見スクリーニングテストの導入を。

**答** 現在、策定中の第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の中で検討します。

**問** がん教育に取り組む考えは。

**答** 学習指導要領に基づき指導していますが、さらなる充実のため、医師や保健師など医療関係者を招いての授業実施も検討してまいります。

**問** 代読・代筆支援に取り組む考えは。

**答** 障がい者だけでなく、必要とされる方が増えてくると予想されますので、今後検討し、支援員の養成について調査・研究をしていきます。